

**日本中央競馬会 令和4年度畜産振興事業**  
**畜産ティーン育成プロジェクト事業 研修参加者 応募要領**

**1. 事業の目的**

畜産業の担い手を確保するためには、若年層が畜産に将来性を見出し目指せる環境を整えることが肝要である。高等学校生徒を対象に畜産業が盛んなデンマークの畜産教育現場及び畜産農家において海外研修を実施するとともに、その研修成果を広く社会に発信し、次世代の畜産業従事者の増加に資する啓発活動を行う。これにより問題点を主体的捉え、自分自身の就農の動機付けとすることを目的とする。

**2. 実施団体**

公益社団法人 国際農業者交流協会（以下、協会と記す）が事業の実施団体として、デンマーク王国（以下、DK）の Dalum Landbrugsskole（DKの農業学校、以下、Dalum 農業学校）と提携して研修を実施する。

**3. 助成母体事業**

日本中央競馬会（以下、JRAと記す）の令和4年度日本中央競馬会畜産振興事業（事業の実施・運営は、公益財団法人 全国競馬・畜産振興会が行う）

**4. 事業内容**

**(1) DK畜産業の研修**

研修参加者は、Dalum 農業学校がオンラインにて提供する講義や学習、DK内の畜産農家や農業関係者等に行うインタビューを通じて、同国の畜産業を総合的に学び、この研修により得た知識と経験を基に本事業成果の啓発活動を行う。

**(2) 研修効果発現の検証**

研修参加者の意識調査を研修実施前後に行い、自身にとってどのような研修効果がもたらされたかを検証するとともに、同一年度内に畜産業の魅力と重要性を促進する啓発活動として畜産アンバサダー活動を行い、学内・外においてどのような啓発がなされたか、関係機関の活動に参加して、学んだことを共有する機会をどのように生かすことができたか等について追跡調査を行う。また、それらの活動を通じて、参加者各自の意識や将来計画等にどのような影響や変化があったかについて調査を行う。

**5. 研修内容**

以下の内容について、オンラインによる学習、または実践的な活動を行う。

- 事前研修（プロジェクトの目的、日本の畜産業の現状、畜産アンバサダー活動の役割）
- 国際感覚を身に付けるべく、コミュニケーション（特に英語）の重要性の認識
- DKの畜産業の学習（技術、考え方、政策、農業生産者組合、マーケティング戦略、サステイナビリティ等）
- 国を越えた同世代畜産後継者との交流と畜産への就農意欲の醸成
- 男女共同参画とジェンダーイコリティの意識の醸成
- 日本畜産業への理解の深化
- 研修成果報告

- 研修報告書の作成
- 畜産業への意識調査アンケート
- 畜産アンバサダー活動
- 未来の畜産業に対するアイデアの提案

## 6. 実施時期、期間、場所

- 事前研修                    令和4年6月13日（月）～17日（金）    オンライン
  - 本研修                      令和4年8月15日（月）～26日（金）    オンラインや演習
  - 研修成果報告会        令和4年9月29日（木）13時30分    オンライン配信
- 実施時期や期間は、都合により変更となる場合がある。

## 7. 研修参加者（生徒）、募集人数と対象者及びメンター

- 研修参加者（生徒）
  - 募集人数    20名
  - 応募資格
    - A) 心身ともに健全なこと。
    - B) 農業に関する学科（農業科、畜産科等）を設置する高等学校で、1年以上学んでいること。また、農業関連学科所属でなくても、畜産業に関するバックグラウンドがあり、将来畜産生産に携わることを目指している方も応募資格対象とする。
    - C) 将来畜産業へ就農する意欲を持つこと。
    - D) 英語の初歩的素養があり、英語を積極的に学ぼうという意識が強いこと。
    - E) 事前研修、本研修、研修成果報告会、畜産アンバサダー活動のすべてに参加できること。
    - F) 事業参加において求められる報告書やアイデアの提供、意識調査や進路調査アンケートへの協力などすべての義務を果たすこと。
    - G) 畜産アンバサダー活動で考えや意見を積極的に相手に伝えることができること。
    - H) 所属高等学校長の推薦が得られること。
    - I) 過年度に実施された未来の畜産女子育成プロジェクト事業の参加者でないこと。
- メンター（指導者） 2名
 

海外農業研修経験を有し、畜産業で活躍する若手畜産農家や研究者等から協会が選任する。

役割：① 事前研修や本研修に参加し、研修参加者に日本の畜産業の現実と将来性や魅力を伝える。

② 研修で得た情報を取りまとめ、研修報告書を作成し提出する。

③ 参加者の畜産アンバサダー活動に協力するとともに、本事業の目的を促す広報活動に協力する。

④ 事業推進委員会、事業成果評価委員会に出席し、各委員の判断に資する意見や情報を提供する。

## 8. 応募方法（研修参加者）

《研修参加者（生徒）》

所属する高等学校を通じて必要書類を協会に提出する。

なお、1高等学校から1名の応募とする。

(1) 募集期間

令和4年4月28日(金)～5月19日(木)午後4時

(2) 募集方法

農業高等学校関連団体(全国農業高等学校長協会、全国高等学校農場協会)を通じて本事業を周知する。

(3) 応募書類

次の5点とする。

- A) 申込書(様式1)
- B) 課題作文(様式2) A4原稿用紙2枚
- C) 画像・映像の使用ならびにメディア取材承諾書(様式3)
- D) 同意書(様式4)
- E) 所属高等学校長の推薦書(様式5-1、5-2)

(4) 応募方法

上記(3)A～Eの応募書類を所属高等学校で取りまとめPDFファイル化し、応募書類一式を締切日時までに次の通り電子送信すること。

- 送信先Eメールアドレス: mirai@jaec.org
- メールタイトル: 【学校名】令和4年度畜産ティーン育成プロジェクト申込
- メール本文内に以下の事項を加えること
  - ア. 研修申込者氏名とふりがな
  - イ. 所属高等学校名とふりがな
  - ウ. 研修申込者担当教員氏名とふりがな、
  - エ. 研修申込者担当教員の連絡先(緊急連絡先の電話番号、Eメールアドレス)
  - オ. 下記(6)に示すオンライン面談について、令和4年5月20日～27日(土日、祝日を除く)の期間内で研修申込者が可能な日時、時間帯を2つ以上

本会でEメール受信の確認をした後、申込完了のEメールを送信する。メール送信後2日以内(土日、祝日を除く)に受付確認のメールが届かない場合、下記「16.お問い合わせ先」まで電話にて連絡ください。

(5) 応募の締切日時

令和4年5月19日(木)午後4時までにEメール必着

(6) 参加者の決定

- ① 書類審査とオンライン面談を個々に行う。  
※オンライン会議アプリZoomを用いる予定であり、インターネット接続機器、アプリのダウンロード、通信手段、環境等の準備や確認を事前にしておくこと。なお、面談中、通信環境が悪い、通信障害が発生してしまう等の不測の事態があっても、参加者決定に左右されるものではない。オンライン面談がうまく行かない場合、別の機会に再度行うか、電話での面談に代えるものとする。
- ② 応募者多数の場合、書類審査と面談により20名を決定する。
- ③ 結果は、様式5の推薦書に記載のある研修参加者担当教員宛に令和4年6月3日(金)までにEメールにて所属高等学校に通知する。
- ④ 参加決定者は、申込書類原本一式を令和4年6月8日(水)までに必着で所属高等学校

を通じて協会に郵送する。

郵送先住所：〒144-0051 東京都大田区西蒲田 5-27-14  
日研アラインビル 8階  
公益社団法人 国際農業者交流協会  
畜産ティーン育成プロジェクト 担当 行

## 9. 参加費用（研修参加者が負担する費用）

個人的経費以外の費用は、本プロジェクトで賄われる。

なお、事前研修及び本研修はオンラインで実施するため、参加するにはパソコンやタブレット端末等のインターネット接続機器、音声・動画通信の可能なインターネット環境が必要となる。研修参加者がそれらを準備できない場合、本研修中のみ本会が貸与する。

## 10. 研修参加決定後の辞退

都合により参加を辞退する場合、研修参加者や保護者から直接連絡するのではなく、所属高等学校の研修参加者担当教員が辞退の理由を明確にし、電話又はEメールにてその旨を速やかに協会に通知する。

辞退の時期により、万一当事者に関わるキャンセル費用等が発生した場合、その実費は自己負担とする。

## 11. 報告書の作成、未来の畜産業に対するアイデアの作成、意識調査及び進路調査への協力

- 研修参加者、メンターは、それぞれの視点から所定の研修報告書を作成し、期日までに協会に提出する。
- 研修参加者は、このプロジェクトを通じ学んだ成果として未来の畜産業に対するアイデアを作成し、期日までに協会に提出する。
- 研修参加者は、このプロジェクトを通じて自身の意識がどのように変化したか、また高等学校卒業後の進路や将来計画等にどのような影響や変化があったかを検証する意識調査に協力する。

## 12. 研修の日程

### (1) 事前研修（オンライン）

期間：令和4年6月13日（月）～6月17日（金）

時間：16時～18時の2時間を予定（途中、休憩あり）

### (2) 本研修（オンライン）

期間：令和4年8月15日（月）～8月26日（金）

時間：16時～19時30分の3時間30分を予定（途中、休憩あり）

事前研修及び本研修どちらも、内容については別途定め、参加者決定後に案内する。

研修参加者をサポートする担当教員は、事前研修及び本研修の一部に任意で参加することができる。なお、どちらの研修もオンラインで実施するため、参加するにはパソコンやタブレット端末等のインターネット接続機器、音声・動画通信の可能なインターネット環境が必要となるが、担当教員参加のための電子機器や環境の準備、インターネット接続料、個人的経費等は担当教員の自己負担とする。

### 1 3. 研修成果報告会、研修報告書、未来の畜産業に対するアイデアの提出

令和4年9月29日(木)13時30分から、外向けの研修成果報告会をオンラインにより実施する(90分を予定)。なお、前日の夕方にリハーサルを実施する。

研修参加者は、所定の研修報告書を令和4年10月7日(金)までに協会に提出する。また、研修参加者は未来の畜産業に対するアイデアを作成し、令和5年2月24日(金)までに協会に提出する。

### 1 4. 報告書の取りまとめと製本、配布

協会は、後代の参考の資とするため、また、関係機関に広く研修成果を活用してもらうために、参加者の報告書を基に研修報告書を取りまとめ、研修参加者、全国の農業高等学校、事業関係機関等に配布する。

### 1 5. 畜産アンバサダー活動

- 研修参加者は、畜産アンバサダーとして、所属高等学校内外における研修報告会等を通じて担い手の確保、畜産現場における女性の活躍推進をテーマに研修成果の積極的な普及活動を行う。
- 本活動は、研修参加者が所属高等学校にて最低1回、協会主催の国際化対応営農研究会にて1回実施する。また、出身地域や、畜産関連団体等からの要請によっても実施できる。なお、国際化対応営農研究会への参加の場合、研修参加者をサポートする担当同行教員1名に対し、協会の規程に従って、交通費・日当・宿泊費が支払われる。
- 本活動を行った際には、その都度、所定の報告書を作成する。
- 各活動においてアンケートを取り、活動の効果を計る。

### 1 6. 問い合わせ先

公益社団法人 国際農業者交流協会

畜産ティーン育成プロジェクト担当 (石原 / 皆戸<sup>かいと</sup>)

住所 (郵送物宛先)

〒144-0051

東京都大田区西蒲田5丁目27番14号 日研アラインビル8階

公益社団法人 国際農業者交流協会

畜産ティーン育成プロジェクト担当 行

- 電 話 03-5703-0252
- F A X 03-5703-0255
- E メール mirai@jaec.org